

四旬節第1週 主日礼拝

2019年3月10日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『イザヤ書』43章19-21節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌8「七日の旅路」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌102「主は命を」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』5章27-38節(新約118頁)	司会者	
黙想	—	同
メッセージ	「新しい日が始まる」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌262「わが生涯は」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小林 洋子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります。)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司会集	会：片山 勝三兄 会：笹川 清子姉 長谷川睦子姉	映像・音響：片山 浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 「取税人レビ」は後の福音書記者マタイ。十二部族を冠した名前と裏腹に、彼はその仕事ゆえにそりを受けていた。しかし主は彼を弟子として定めておられた。彼の経験は、宣教の前進にことごとく用いられた。
- パリサイ人は熱心だったが「喜び欠損症」だった。喜んで主に従った弟子たちと比較せよ。また自分の内側に、御霊の実の一つである喜びがあるか吟味せよ。復活以降、イエスに従う者には絶えず喜びがある。
- 古きぶどう酒は現状維持という美酒。人々はそれに酔うが、新しきぶどう酒たる永遠のいのちには手をつけようとならない。しかし私たちは聖霊によって心に新しき皮袋を与えられた。君よ御国の祝宴に酔い給え。

今週の暗唱聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい」
(『へブル人への手紙』12章2節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2019年3月10日

宣教区より一斉講壇交換(案)および役員者会の議事録/PBAよりDVD/
学園バザー、フリーマーケット、ボランティア奉仕募集について諸案内[4月29日(月・祝)]/
同盟・徳丸町キリスト教会より「教会堂建築計画についてご報告」

先週の集会出席者数

3/3(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1		
	第一礼拝	男3 女2	※月に一回、書道教室を開催	
	聖餐礼拝(子ども)	男11 女18 男児2 女児5	3/4(月) 月曜家庭集会 (休会) 3/6(水) ネヘミヤ祈禱会 男5 女6	
	夕拝	男1 女1	3/8(金) シャベリ場夕ピタ 男- 女3 3/8(金) 金曜祈禱会 男1 女4	

諸集会のご案内

書道教室	3/11(月)午前9:30	『詩篇』103篇(2,5,11,15節など)	書の指導：藤田 美保姉
月曜家庭集会	3/11(月)夜	山崎岩雄兄宅	
新潟山形僚禱会	3/13(水)※祈りのネットワークご持参ください	聖書『詩篇』132篇	司会：片山 初子姉
シャベリ場夕ピタ	3/15(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
金曜祈禱会	3/15(金)夜	教会堂	

3/17(日) 四旬節(レント)第2週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：佐藤 繁実兄	※教会学校の後半で進級式を予定。	
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 健司兄 集会：長谷川睦子姉 山岸あけみ姉	映像・音響：伊東 一馬兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：小山 千春姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	2/24[近牧師] 3/ 3[佐藤兄] 3/10[片山姉] 3/17[佐藤兄] 3/24[近牧師] 3/31[片山姉]		
掃除当番順	2/24[小山姉] 3/ 3[有志] 3/10[長谷川姉] 3/17[山岸姉] 3/24[横堀姉] 3/31[渡邊姉]		
主日の予定	カナン訪問	午後2:00~3:00	進行：小林 洋子姉
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『詩篇』127篇	

報告

- 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝いたします。いただいたみことばをかみしめ、心に刻みつけましょう。本日午後4時から北新潟キリスト教会で新潟ランチョンの聖歌隊練習が持たれます。
- 行事への参加者募集
次週3月18日(月)12:00より新潟福音教会において教師家族送別会が行われます。教師だけでなく信徒も参加できます。また来月14日(日)に長岡福音キリスト教会で献堂式が行われます。参加を希望される方は早めにお申し込みください。詳細は掲示物をご覧ください。
-

こどものための紙芝居に「二人の大工さん」というのがあります。

あるところに、いずれも腕自慢の二人の大工さんがいました。ある時どちらが本当にいい腕してるかコンテストをしようということになりました。設計も材料も期間も条件は同じです。

二人は、それぞれ腕によりをかけて頑張りそれぞれ完成させました。結果をみんなに見てもらったのですが、どちらも優劣つけがたいということで、勝負は引き分けになりました。

それから数年たったある日のこと、激しい嵐が襲ってきました。あちらこちらで家が倒れたり、流されたりという被害が続出しました。さて、二人の大工さんの建てた家ですが、片方の家だけが倒れ、流されてしまったのです。調べたところ、原因は土台に違いがあったことがわかりました。片方は堅い岩の上に建てられており、倒れ流された家の方はなんと砂の上に建てられていたのです。どちらが優秀な大工さんだったかは、家が嵐に遭って見て、初めてわかったというものです。

このお話は、イエス・キリストが山上の垂訓の結論として語られたところからとったものです。ここには少なくとも三つの要素が含まれていると思います。

まず、人生とは家を建て上げていくようなものだということ。

次は、人生には思いがけない嵐がやってくる

ものだということ。

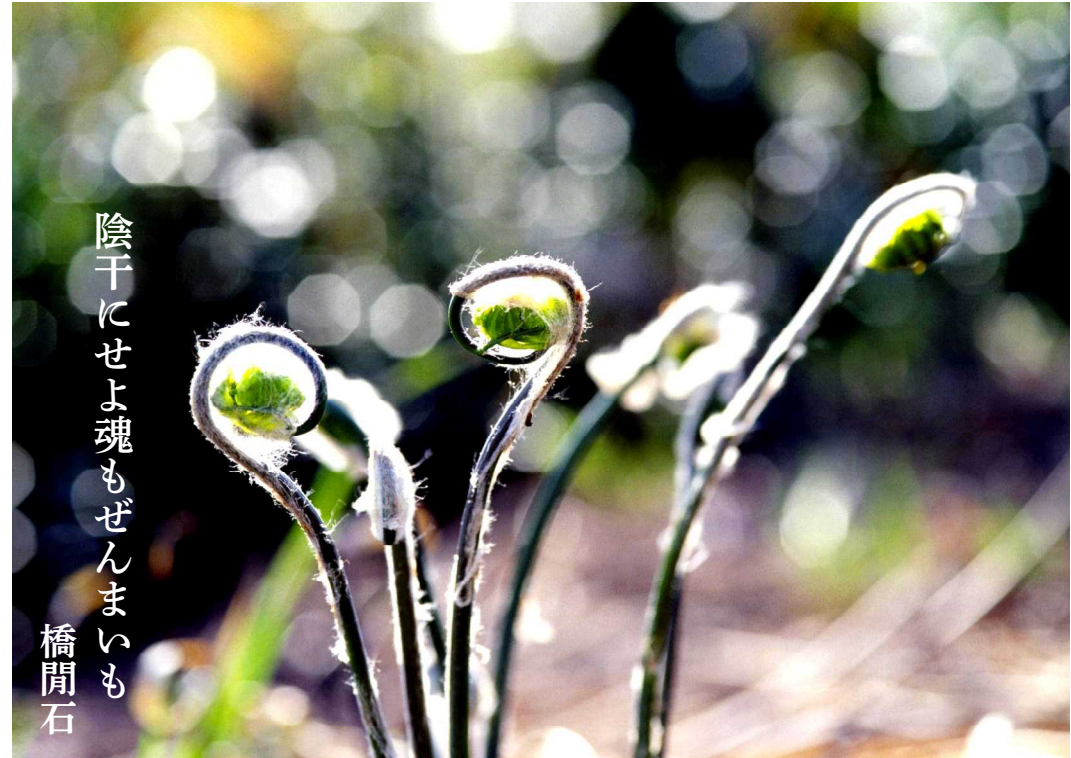
もう一つは、嵐に耐えられるかどうかは土台次第だ、ということです。

では、この土台に心を用いるとはどういうことなのでしょう。

第一に、土台は目に見えない隠れた部分ですから、人生構築の確かさは、目に見えない部分への関心度によるということを意味していると思います。聖書にも「見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続く」(IIコリント4章18節)とあります。たましいのこと、信仰のこと、すべて見えないものですが、これを抜きにした建物は、まさに台なしです。

第二に、土台を据えるためには、労力や資材をつぎ込まなければならないように、目に見えない部分にそれだけの元手をかける覚悟が必要だということです。イエス様も、賢明な大工さんは「地面を深く掘り下げ」(ルカ6章48節)土台を据えたと説明しておられます。何事においても熱心さと真剣さ、時には犠牲をも必要とします。堅固な建築のためにはまさにこれが必要です。

第三は、土台の質の問題です。一時的な見せかけの土台ではいけません。多くの人々は、財産や学歴や体力や能力などを土台として人生を構築しようとしています。しかしいざというときにそれらはどうでしょう。ですから、天地は失せても変わらない神の言葉にこそ土台を置くべきです。



橋間石 (はし・かんせき 1903-92) は石川県出身の俳人・英文学者。代表作に「蝶になる途中九億九光年」「銀河系のとある酒場のヒヤシンス」などユニークなものが多い。俳句に関しては師や友人を持たず独学で通している。パリサイ人のような人前だけでの熱心さでは疲れてしまう。ときどきは風通しのよい所で魂を陰干しにして、じっくりと恵みの日々を反芻したい。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)



毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

3/16(土)イスラエルシリーズ「イエス・キリストの生涯をたどる旅・5」



シリーズでお届けしている「イエス・キリストの生涯をたどる旅」の5回目。このシリーズでは、福音歌手の森祐理さんが聖書の記述をたどりながらイエス・キリストが実際に生まれ育ち、活動したイスラエルの町々を紹介していきます。今回は、エルサレムからイエス・キリストがゲツセマネの園で捕らえられるまでの足跡を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区 豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

